



宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会

群馬県甘楽町で現地研修を実施

2月14日（金）、審議会による現地研修を実施しました。研修先の群馬県甘楽町は、平成14年に策定された総合計画に基づき町立学校の再編に着手しました。平成28年までに分校を含め5校あった小学校を3校に、3校あった中学校を1校に再編しています。当日は、甘楽町役場でこれまでの経緯を含めて、学校の跡地利用、通学路の安全対策についてお話を伺いました。

その後、平成28年4月に開校した甘楽中学校へ移動して現地研修を行いました。最新の学校として環境配慮などの設備面はもちろん、トイレや校内の動線など生徒の視点から設計されていました。特に印象だったのは、中学校に防災交流センターが併設されていることです。日常的には生徒の食堂として利用されていますが非常用電源が整備され、災害時には避難所となります。昨年10月の台風19号の際には約500人の住民の避難があったそうです。

甘楽町教育委員会の近藤教育長は「中学校の再編には住民の理解と協力がありました。甘楽町の小学生の全児童がこの中学校に通うことになるので、教職員の相互交流を進めていきたい」と話してくれました。



問合せ: 教育総務担当 内線425

宮代町小・中学校英語検定助成について

【中学校】今年度から始めた助成(3年間で1回3級受験相当額3,900円)で、令和元年度に英検を受検した生徒の状況は、以下のとおりです。

	第1回				第2回				令和元年度合計	平成30年度合計
	3級	準2級	2級	計	3級	準2級	2級	計		
1年生	2人	0人	0人	2人	1人	0人	0人	1人	3人	4人
2年生	10人	2人	0人	12人	16人	2人	1人	19人	31人	18人
3年生	40人	12人	3人	55人	26人	6人	0人	32人	87人	78人
計	52人	14人	3人	69人	43人	8人	1人	52人	121人	100人

【小学校】6年生が英検Jr. BRONZEを令和2年2月13日(木)に受検しました。BRONZE検定の到達目標は、「日常生活での身近なできごとについて、初歩的なコミュニケーションに必要な語句や簡単な表現を聞き、理解できる」となっています。毎年、6年生はBRONZEレベルをクリアし、自信を持って中学校の英語教育を迎えています。

昨年度と比べ、助成による受検者のみで、1.21倍に増加しました。助成制度により、意欲的に検定を受ける傾向が見られます。

英検3級レベル

読む	聞く	話す	書く
簡単な物語や身近なことに関する文章を理解することができる。	ゆっくり話してもらえば、身近なことに関する話や指示を理解することができる。	身近なことについて簡単なやりとりをしたり、自分のことについて述べたりすることができる。	自分のことについて簡単な文章を書くことができる。

英検HP「Can-doリスト」から



文部科学省は、英語力の目標を、
中学校卒業段階
英検3級程度以上
高等学校卒業段階
英検準2級程度～2級程度以上

上記を達成した中高生の割合
50%と考えています。
(文部科学省HPから)

問合せ: 学校教育担当 内線423

チーム全員で力を合わせて 第36回宮代町綱引大会

1月28日(日)、宮代町総合体育館メインアリーナにて第36回宮代町綱引大会が開催され、小学生の部19チームとミックスの部(一般男女混合の部)6チームの全25チーム総勢253名が参加しました。

お揃いのハチマキやユニフォームを着用したり、円陣を組んだりとそれぞれのチームが気合十分で試合に臨みました。審判の「プル!」という合図とともに一致団結してカー杯綱を引く選手の皆さん。友達や家族からの応援が会場に響き渡る中、白熱した試合が繰り広げられました。

小学生の部では「笠原ビクトリーズ」、ミックスの部では「Pull the MONMA」が優勝しました。大会終了後には恒例のお楽しみ抽選会が行われ、笑顔いっぱいの日となりました。



※「笠原ビクトリーズ」は、1月19日(日)に久喜市総合体育館にて開催された第37回埼玉県綱引選手権大会にて見事に第3位となりました。

プロの技術を間近で体感

浦和レッズハートフルサッカー教室

1月25日(土)、宮代町総合体育館メインアリーナにて、浦和レッズハートフルサッカー教室が開催されました。これは、小学校3・4年生を対象に実施している運動教室「あそびと運動<チャレンジ>」の一環として行われたものです。

当日は、浦和レッズなどで活躍した元Jリーグ選手を中心としたコーチ陣4名が子供たちを指導。楽しく体を動かせる運動メニューやボールを使ったシュート練習などを行い、最後に子供たちとコーチの混合チームで試合を行いました。子供たちはプロのボール捌きを間近で体感し、いつもの教室以上にたくさん走って充実した2時間を過ごしました。



※あそびと運動<チャレンジ>教室は、令和2年度も開催する予定です。さまざまな種目の競技を体験できますので、ぜひご参加ください。

問合せ：生涯学習・スポーツ振興担当 内線432

◆令和元年度 百間小学校放課後子供教室(モデル事業) 事業報告◆ ~地域で子供たちを育む~

宮代町で初めての試みとなる、百間小学校放課後子供教室(モデル事業)を実施しました。初年度は計7回行い、参加登録者33名、累計183名が参加しました。

保護者や地域住民によるボランティアスタッフや共栄大学教育学部の学生が見守る中で、子供たちは自由に遊んだり、地域団体による体験プログラムに参加するなどして、楽しく放課後の時間を過ごしました。毎回開かれている体験プログラムでは、宮代町さわやかクラブ連合会、宮代町スポーツ推進委員連絡協議会、宮代町卓球連盟、山崎山保全ボランティア里山守り隊の協力により、世代を超えた地域の方との交流や普段あまりできないような体験をすることができました。

令和2年度は本格実施となり、毎月2回放課後の子供たちの居場所を提供していく予定です。



▲活動タイムの様子



▲宮代町さわやかクラブ連合会による紙トンボ作り、輪投げ体験



▲宮代町スポーツ推進委員連絡協議会によるニュースポーツ体験



▲宮代町卓球連盟による卓球体験



▲山崎山保全ボランティア里山守り隊による森のクラフト作り

放課後子供教室とは、小学校の余裕教室などを活用して、保護者や地域住民が見守る中で、子供たちが安心して過ごせる居場所を提供するとともに、地域の団体やグループ等の協力を得て、勉強やスポーツ・文化活動などの体験機会を提供する事業で、近隣市町をはじめ全国各地の小学校で実施されています。

問合せ：生涯学習・スポーツ振興担当 内線433

【郷土資料館からのお知らせ】

～開催しました～ 特別展 みやしろの消防

日本の消防制度が始まったのは今から約145年前のことで、現在のような自治体消防制度となったのは約70年前です。また、宮代消防署（現在の埼玉東部消防組合 宮代消防署）がその業務を開始してから35年が過ぎました。

郷土資料館では、10月26日（土）から12月22日（火）にかけて、令和元年度特別展「みやしろの消防」を開催し、収蔵している古文書や道具の中から、町を守ってきた先人たちの足跡を辿ることのできる資料を紹介しました。防災に対する私たちの心構えがどうあるべきなのかを見直すための良い機会にさせていただきました。



江戸～明治時代の消防用具

大正～昭和時代の消防用具



郷土資料館で企画展開催中！

企画展

「宮代の遺跡～土の中の文化財～」

宮代町で遺跡が初めて発見されてから今日で約50年となります。今回の展示ではこれまで宮代町で発見された遺跡の概要を紹介すると共に発掘調査の成果や出土遺物等を紹介しています。

日時：5月10日（日）まで
9時30分～16時30分
〔休館日〕月曜日・祝日直後の平日
※月曜日が祝日の場合はその翌日

会場：宮代町郷土資料館1階特別展示室



住居跡調査風景（令和元年度姫宮神社遺跡）

問合せ：0480(34)8882（郷土資料館直通）

人権週間～お互いを尊重し合い、共に高め合うことができる児童生徒の育成

我が国では、毎年12月4日から12月10日を人権週間として、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。埼玉県でも、同期間を「人権尊重社会をめざす県民運動強調週間」としています。宮代町では、毎年この期間に小・中学生の人権意識を高めるために様々な活動を行っています。

【人権講座講演会】

町内の全小学校の6年生を対象として、子ども人権講座を開催しました。「視力を失って見えたもの」と題して講師の渡辺宏先生から、「人の気持ちを感じること」「人との接し方や物事の見方、考え方」についてお話をいただきました。

障がいをもって
いる人が困って
いたら、声をか
ける勇気をもち
たいです。

自分の言ったこ
とで相手の心の
色が明るくなる
のか、暗くなっ
てしまうのか考
えてから発言す
ることが大切と
いうことがわか
りました。



【人権作文発表会】

12月5日（木）に宮代町人権作文発表会を須賀小学校の体育館で開催しました。町内の各小・中学校の代表児童生徒の表彰と人権作文の発表、人権啓発映画の視聴を行いました。須賀小学校の5・6年生が代表として参加しました。

今後も子供たちの人権意識を高め、お互いを尊重し合い共に高め合うことができる児童生徒を育成します。

問合せ：学校教育担当 内線423

百間小学校すべり台が国の登録有形文化財になります



すべり台 全景



すべり台の銘板

令和元年11月15日(金)に開催された国の文化審議会において、「百間小学校すべり台」を国の登録有形文化財に登録するよう答申されました。この結果、日本工業大学工業技術博物館所有の「工業技術資料」に続いて町では2件目、また、宮代町所有の文化財としては初めての国登録有形文化財となります。

百間小学校すべり台は、大正15年(1926年)に建設された鉄筋コンクリート造で、正門を入れて右側にあります。高さ3.1メートル、全長6.8メートルを測り、滑降面が人造石研ぎ出し仕上げとなっています。本来は塗装されていなかったのですが、これまで何度か補修される間に塗られたようです。支柱には「大正15年11月28日 寄附者野口文左衛門」と刻まれた銘板があり、建築年代と寄贈者を知ることができます。寄贈者の野口氏は地元で建設業を営んでいた人物です。寄贈された詳しい経緯はわかりませんが、学校の記録である『百間小学校学校沿革史』に、「大正15年11月28日 第3次増築校舎並に校舎一部の移転改築工事竣工落成す」とあり、銘板の日付と一致することから、竣工落成の記念として寄贈されたと考えられます。大正期に建設された鉄筋コンクリート造のすべり台として希少な現存例であり、特に学校遊具として三世代以上に渡り使用され、今なお現役で使われている点においても貴重な文化財といえます。

問合せ: 0480(34)8882(郷土資料館直通)

笠原小学校に世界の視察団が来校

昨年「OECD/GNEELE」が日本で開催されることに伴い11月21日(木)に会合参加国の視察団が笠原小学校へ来校しました。

[OECD]「Organisation for Economic Co-operation and Development 経済協力開発機構」
先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて、経済成長、貿易自由化、途上国支援に貢献することを目的に活動している機関。(経済産業省HPより)

[GNEELE]「Group of National Experts on Effective Learning Environments: 効果的な学習環境に関する専門家会合」
教育施設に関する国際的な交流推進等により、教育施設計画の質的水準向上を目的として設置。
(国立教育政策研究所 文教施設研究センター資料より)

今回は特徴的な学校を訪問したいとの希望で来校されました。国際機関による視察ということもあり、アジアやヨーロッパなど国際色豊かな方々がいらっしゃいました。

当日は、笠原小学校を設計した象設計集団の富田玲子氏も同行され、設計のコンセプトなどを視察団に説明してくださいました。

建築はもちろん、子供たちの展示作品にも興味津々の様子でした。元気な笠原小の子供たちと英語で話す場面も見られ、短い時間ですが「国際交流」が育まれました。



問合せ: 教育総務担当 内線426

教育だより みやしろ(第6号)
令和2年4月1日発行

発行: 宮代町教育委員会
事務局: 教育推進課教育総務担当(宮代町笠原1-4-1)
Tel: 0480(34)1111 内線 425・426
Fax: 0480(34)4152
Mail: kyouiku@town.miyashiro.saitama.jp
※ ご意見、ご感想をお寄せください。